

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7294106号
(P7294106)

(45)発行日 令和5年6月20日(2023.6.20)

(24)登録日 令和5年6月12日(2023.6.12)

(51)国際特許分類

F I

B 6 5 D 5/52 (2006.01) B 6 5 D 5/52 K

B 6 5 D 5/54 (2006.01) B 6 5 D 5/52 F

B 6 5 D 5/54 3 0 1 E

請求項の数 6 (全11頁)

(21)出願番号	特願2019-225501(P2019-225501)	(73)特許権者	000122298
(22)出願日	令和1年12月13日(2019.12.13)		王子ホールディングス株式会社
(65)公開番号	特開2021-95145(P2021-95145A)		東京都中央区銀座4丁目7番5号
(43)公開日	令和3年6月24日(2021.6.24)	(74)代理人	110001243
審査請求日	令和4年1月31日(2022.1.31)		弁理士法人谷・阿部特許事務所
		(72)発明者	袴田 亮平
			京都府京都市南区西九条南田町6番地
			森紙業株式会社内
		審査官	佐藤 正宗

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 包装箱およびブランク

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

頂部と胴部とを有し、物品を収容する包装箱であって、

相互に平行に対向する一对の第1側面部と、前記第1側面部と直交する相互に平行に対向する一对の第2側面部と、前記第1側面部と前記第2側面部と直交し対向する底面部と天面部とを有し、

前記天面部は、前記第1側面部とそれぞれつながる一对の外フラップと、前記外フラップの内側に位置して前記第2側面部にそれぞれつながる一对の内フラップと、を有し、

前記頂部に破断開始部を有し、前記破断開始部の両端から前記一对の第1側面部の一方に亘って一对の破断線が形成され、

前記破断開始部は、前記一对の外フラップのうち一方に設けられ、前記一对の外フラップのうち一方の自由端辺から基端側に所定の距離離れた位置に設けられており、

前記第1側面部には、前記一对の破断線から、それぞれ前記第1側面部と前記第2側面部とを接続する辺に向かって、前記第1側面部と前記外フラップとを接続する辺上に一对の第1の切断線が形成され、

前記第1側面部には、一对の破断線から、それぞれ前記第1側面部と前記第2側面部とを接続する辺に向かって、一对の第2の切断線が形成され、

前記第1側面部には、前記第1の切断線と前記破断線と前記第2の切断線とから区画される第1矩形部が形成され、

前記第1矩形部は、表示部を有し、

輸送時の前記天面部が陳列時に正面となるように 90 度回転させた姿勢で前記一对の第 1 側面部の他方が下方となるように前記物品を展示することを特徴とする包装箱。

【請求項 2】

前記破断開始部は、左右に一对の帯状のジッパーを有することを特徴とする請求項 1 に記載の包装箱。

【請求項 3】

前記包装箱は、前記破断開始部と前記一对の破断線とによって区画される表示部をさらに有することを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の包装箱。

【請求項 4】

前記表示部は、前記表示部の一方の端側縁から他方の端側縁に亘って、前記表示部の中央に折り曲げ線を有することを特徴とする請求項 3 に記載の包装箱。

10

【請求項 5】

前記折り曲げ線の近傍には、切断線を有することを特徴とする請求項 4 に記載の包装箱。

【請求項 6】

包装箱を構成するブランクであって、
矩形の第 1 面部と、
前記第 1 面部と第 1 罫線を介して接続する矩形の第 2 面部と、
前記第 2 面部と前記第 1 罫線と平行な第 2 罫線を介して接続する矩形の第 3 面部と、
前記第 1 面部と前記第 1 罫線と平行な第 3 罫線を介して接続する矩形の第 4 面部と、
前記第 1 罫線と直角に延在する相互に平行に一对の第 4 罫線を介して前記第 1 面部とそれぞれに接続する一对の第 1 フラップと、
前記第 2 罫線と直角に延在する相互に平行に一对の第 5 罫線を介して前記第 2 面部とそれぞれに接続する一对の第 2 フラップと、
前記第 2 罫線と直角に延在する相互に平行に一对の第 6 罫線を介して前記第 3 面部とそれぞれに接続する一对の第 3 フラップと、
前記第 3 罫線と直角に延在する相互に平行に一对の第 7 罫線を介して前記第 4 面部とそれぞれに接続する一对の第 4 フラップと、
を備え、

20

前記第 1 フラップおよび前記第 3 フラップの少なくとも 1 つのフラップは、破断開始部を有し、前記破断開始部の両端から前記少なくとも 1 つのフラップに接続している面部に亘って一对の破断線が形成され、前記破断開始部は、前記少なくとも 1 つのフラップの自由端辺から基端側に所定の距離離れた位置に設けられ、
前記第 1 面部には、前記一对の破断線から、それぞれ前記第 1 罫線および前記第 3 罫線に向かって、前記第 4 罫線上に一对の第 1 の切断線が形成され、
前記第 1 面部には、前記一对の破断線から、それぞれ前記第 1 罫線および前記第 3 罫線に向かって、一对の第 2 の切断線が形成され、
前記第 1 面部には、前記第 1 の切断線と前記破断線と前記第 2 の切断線とから区画される第 1 矩形部が形成されていることを特徴とするブランク。

30

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

40

【0001】

本発明は、包装箱およびブランクに関する。

【背景技術】

【0002】

従来、食品類などの物品を包装箱に収容し輸送されることが知られている。包装箱に収容されている物品は、包装箱から物品を取り出して陳列棚に陳列しなければならない。

【0003】

そこで、輸送された包装箱の一部を開口可能な包装箱が用いられる。このような包装箱として、特許文献 1 に記載されているように、天面および側面の一部に開口部を形成することで包装箱を陳列し、開口部を介して物品を展示して、陳列に要する手間を図っている。

50

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【文献】特開2016-190645号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、例えば、特許文献1の包装箱では、ユーザが包装箱を開封する際に、テープの全幅に亘ってテープとともに破断するため、破断線を破断するよりも力を必要とし、その力によって破断線から反れて包装箱が破れる恐れがある。また、包装箱に必要な以上の力がかかり、包装箱が変形する恐れがある。これによって、包装箱を陳列して物品を展示する際に展示適性が悪くなる。

10

【0006】

よって、本発明の目的は、包装箱を陳列して物品を展示する際に、包装箱を破断線に沿って天面部の一部および側面部の一部を容易に破断して開口部を形成し、物品を見映えよく展示できる包装箱とそのブランク（以下、ブランクシートともいう）を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本発明の包装箱の一形態は、頂部と胴部とを有し、物品を収容する包装箱であって、相互に平行に対向する一対の第1側面部と、第1側面部と直交する相互に平行に対向する一対の第2側面部と、第1側面部と第2側面部と直交し対向する底面部と天面部とを有し、天面部は、第1側面部とそれぞれつながる一対の外フラップと、外フラップの内側に位置して第2側面部にそれぞれつながる一対の内フラップと、を有し、頂部に破断開始部を有し、破断開始部の両端から一対の第1側面部のうち一方に亘って一対の破断線が形成され、破断開始部は、一対の外フラップのうち一方に設けられ、一対の外フラップのうち一方の自由端辺から基端側に所定の距離離れた位置に設けられており、輸送時の天面部が陳列時に正面となるように90度回転させた姿勢で一対の第1側面部のうち他方が下方となるように物品を展示することを特徴とする。

20

【0008】

本発明のブランクの一形態は、包装箱を構成するブランクであって、矩形の第1面部と、第1面部と第1罫線を介して接続する矩形の第2面部と、第2面部と第1罫線と平行な第2罫線を介して接続する矩形の第3面部と、第1面部と第1罫線と平行な第3罫線を介して接続する矩形の第4面部と、第1罫線と直角に延在する相互に平行に一対の第4罫線を介して第1面部とそれぞれに接続する一対の第1フラップと、第2罫線と直角に延在する相互に平行に一対の第5罫線を介して第2面部とそれぞれに接続する一対の第2フラップと、第2罫線と直角に延在する相互に平行に一対の第6罫線を介して第3面部とそれぞれに接続する一対の第3フラップと、第3罫線と直角に延在する相互に平行に一対の第7罫線を介して第4面部とそれぞれに接続する一対の第4フラップと、を備え、第1フラップおよび第3フラップの少なくとも1つのフラップは、破断開始部を有し、破断開始部の両端から少なくとも1つのフラップに接続している面部に亘って一対の破断線が形成され、破断開始部は、少なくとも1つのフラップの自由端辺から基端側に所定の距離離れた位置に設けられていることを特徴とする。

30

【発明の効果】

【0009】

本発明の包装箱によれば、外フラップの自由端辺はテープで封止されているところ、外フラップの自由端辺から所定の距離離れた位置に破断開始部を設けることによって、テープの全幅に亘ってテープを破断することなく、包装箱を破断線に沿って容易に開封でき、包装箱を陳列し物品を見映え良く展示することができる。

40

【0010】

50

また、本発明のブラנקによれば、包装箱を容易に開封可能な包装箱を組み立てることができる。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 1 1 】

【図 1】本発明の一実施形態に係る、開封後の包装箱の斜視図である。

【図 2】本発明の一実施形態に係る、輸送時の包装箱の斜視図である。

【図 3】図 2 に示した包装箱を天面部が正面となるように 90 度回転させた状態を示す図である。

【図 4】図 3 に示した包装箱の表示部を開封したときの斜視図である。

【図 5】図 1 に示した包装箱のブラנקの平面図である。

10

【発明を実施するための形態】

【 0 0 1 2 】

以下、図面を参照して本発明を詳細に説明する。

【 0 0 1 3 】

図 1 は、本発明の一実施形態に係る、開封後の包装箱 1 の斜視図である。図 2 は、本発明の一実施形態に係る、輸送時の包装箱 1 の斜視図である。本実施形態に係る包装箱 1 は、詳細については後述するが、頂部 1 a と胴部 1 b とを有し、複数の物品 50 を収容して輸送されるものである。その後、ユーザは、包装箱 1 の一部を破断して複数の物品 50 が取り出せる状態にして、包装箱 1 を陳列して使用される。

【 0 0 1 4 】

20

図 1 および図 2 に示されるように、包装箱 1 は、相互に平行に対向する一对の第 1 側面部 1 1、1 3 と、第 1 側面部 1 1、1 3 と直交する相互に平行に対向する一对の第 2 側面部 1 2、1 4 と、第 1 側面部 1 1、1 3 と第 2 側面部 1 2、1 4 と直交し対向する底面部と天面部 2 0 とを有している。また、天面部 2 0 は、第 1 側面部 1 1、1 3 とそれぞれつながる一对の外フラップ 2 1、2 3 と、外フラップ 2 1、2 3 の内側に位置して第 2 側面部 1 2、1 4 にそれぞれつながる一对の内フラップ 2 2、2 4 と、を有している。なお、輸送時においては、図 2 に示すように、側面部を基準として底面部側を下とし、天面部 2 0 側を上とする。また、陳列時においては、図 2 に示す包装箱 1 を 90 度回転させて、図 1 に示すように、第 2 側面部を基準として第 1 側面部 1 3 側を下とし、第 1 側面部 1 1 側を上として以下に記述する。

30

【 0 0 1 5 】

本実施形態における包装箱 1 の頂部 1 a は、図 2 に示すように、天面部 2 0 と側面部の一部によって形成される領域である。詳細には、包装箱 1 に物品 50 が収容されている状態において、天面部 2 0 から収容されている最上位にある物品 50 までを頂部 1 a とし、最上位にある物品 50 から底面部までが包装箱 1 の胴部 1 b である。

【 0 0 1 6 】

天面部 2 0 は、第 1 側面部 1 1、1 3 にその上端辺である第 4 罫線 L 4、第 6 罫線 L 6 を介してつながる第 1 外フラップ 2 1、2 3 と、第 1 外フラップ 2 1、2 3 の内側に位置して第 2 側面部 1 2、1 4 にその上端辺である第 5 罫線 L 5、第 7 罫線 L 7 を介してつながる一对の第 1 内フラップ 2 2、2 4 とを有している。後述するように、包装箱 1 を組み立てたときに、第 1 外フラップ 2 1、2 3 および第 1 内フラップ 2 2、2 4 が重なり合うようになっている。また、第 1 外フラップ 2 1、2 3 は、それぞれの自由端辺を突き合わせて、突き合わせ部分に沿ってテープ 60 によって封止することで天面部 2 0 が形成される。

40

【 0 0 1 7 】

また、底面部（不図示）は、第 1 側面部 1 1、1 3 にその下端辺である第 4 罫線 L 4、第 6 罫線 L 6 を介してつながる一对の第 2 外フラップ 2 5、2 7 と、第 2 外フラップ 2 5、2 7 の内側に位置して第 2 側面部 1 2、1 4 にその下端辺である第 5 罫線 L 5、第 7 罫線 L 7 にそれぞれつながる一对の第 2 内フラップ 2 6、2 8 とを有している。天面部 2 0 と同様に第 2 外フラップ 2 5、2 7 および第 2 内フラップ 2 6、2 8 が重なり合うように

50

なっている。第２外フラップ２５、２７は、それぞれの自由端辺を突き合わせて、突き合わせ部分に沿ってテープ６１によって封止することで、底面部が形成される。なお、本実施形態では、封止する際にテープを用いたが、これに限らず、ホットメルトなどの接着剤を用いてもよい。

【００１８】

図２に示すように、包装箱１は、頂部１ａである天面部２０の第１外フラップ２１に破断開始部２１ａを有し、破断開始部２１ａの両端から第１側面部１１（一对の第１側面部のうち一方）に亘って一对の破断線１１ａが形成され、破断開始部２１ａと一对の破断線１１ａとによって区画される表示部３０（図３を参照）を有している。本実施形態では、破断開始部２１ａを第１外フラップ２１に有するとしたが、これに限られることなく、第１外フラップ２３に有してもよい。また、破断開始部２１ａは、第１外フラップ２１（一对の外フラップのうち一方）の自由端辺から第４罫線Ｌ４側（基端側）に所定の距離離れた位置に設けられる。すなわち、破断開始部２１ａは、第１外フラップ２１の中央に、テープ６０の全幅６０Ｗの半分の長さの位置に、テープ６０と重ならないように設けられている。破断開始部２１ａがテープ６０と重なっていると、破断開始部から一对の破断線に沿って破断する際に、必要以上に力が必要となり、破断線に沿って破断することができない可能性がある。したがって、上述のように、第１外フラップの自由端辺から第４罫線Ｌ４側に所定の距離離れた位置に破断開始部を設けることによって、テープの全幅に亘ってテープを破断することなく、包装箱を破断線に沿って容易に開封することができる。なお、本実施形態では、所定の距離離れた位置をテープ６０の全幅６０Ｗの半分の長さの位置としたが、これに限られることなく、第１フラップ２１、２３とがテープ６０によって封止した際にテープ６０と重ならない位置であればよい。例えば、所定の距離離れた位置が、テープ６０の全幅６０Ｗの半分未満の長さの位置でもよく、図１に示すように、包装箱１が物品を陳列するトレイ機能を崩さない程度に、テープ６０によって第１外フラップ２１、２３を封止できればよい。また、所定の距離離れた位置は、テープ６０の全幅６０Ｗよりも長い位置でもよい。

【００１９】

さらに、破断開始部２１ａは、左右に一对の帯状のジッパーを有している。これにより、破断開始部２１ａを破断しやすくすることができる。本実施形態では、破断開始部２１ａを左右に一对の帯状のジッパーとしたが、これに限らず、破断開始部２１ａの一方の端辺から他方の端辺の帯状のジッパーでもよい。一对の帯状のジッパーをそれぞれ破断することによって、包装箱１の外側から内側に向けて、指を掛けられる穴が形成される。また、破断開始部２１ａは、手の指がかかる程度の大きさであればよい。

【００２０】

また、破断開始部２１ａの両端は、第１外フラップ２１の両端から中央側に所定の距離離れた位置に設けられている。第１外フラップ２１の両端は、第１外フラップ２１に対応する第１内フラップ２２、２４と、ホットメルトなどの接着剤で固着される場合があるところ、そのような場合であっても、破断開始部２１ａの両端を第１外フラップ２１の両端から中央側に所定の距離離れた位置に設けることで、固着部を破断することなく、包装箱を破断線に沿って容易に開封することができる。

【００２１】

図３は、図２に示す包装箱１を９０度回転させた状態を示す斜視図である。図４は、図３に示す包装箱１の表示部３０を第１側面部１３側から第１側面部１１側に向かって破断したときの斜視図である。なお、図４中、包装箱１に収容される物品５０は説明の便宜上省略している。表示部３０は、表示部３０の一方の破断線１１ａ（一方の端側縁）から他方の破断線１１ａ（他方の端側縁）に亘って、表示部３０の中央に折り曲げ線Ｌ１１を有している。また、折り曲げ線Ｌ１１の近傍には、切断線１１ｄを有している。このように、表示部３０は、折り曲げ線Ｌ１１および切断線１１ｄによって、折り曲げやすくなる。さらに、表示部３０は、収容された物品５０の情報を表示する表示部形成領域３０Ａを有している。これにより、消費者に対して、例えば物品の名称や物品の説明な

ど表示することができる。なお、本実施形態では、包装箱に表示部 30 を有しているが、この限りではなく、後述する第 1 矩形部 31 に表示部を有するようにしてもよい。また、本実施形態では、包装箱に表示部 30 を有するとしたが、この限りではない。

【0022】

第 1 側面部 11 には、一对の破断線 11a から、それぞれ第 1 罫線 L1 および第 3 罫線 L3 に向かって、第 4 罫線上に一对の切断線 L4a が形成される。また、第 1 側面部 11 には、一对の破断線 11a からそれぞれ第 1 罫線 L1 および第 3 罫線 L3 に向かって、一对の切断線 11b が形成される。これにより、第 1 側面部 11 には、切断線 L4a と破断線 11a と切断線 11b とから区画される第 1 矩形部 31 が形成される。また、第 1 側面部 11 には、破断線 11a と切断線 11b と第 1 罫線 L1 と第 4 罫線 L4 とから区画される第 2 矩形部 32 が形成される。第 1 矩形部 31 および第 2 矩形部 32 は、複数の包装箱を重ねて積み上げる際に、複数の物品 50 への負荷を軽減し物品の潰れを防止することができる。また、後述するが、第 1 矩形部 31 を上方に立ち上げた状態で、複数の包装箱を重ねて積み上げる場合でも、第 2 矩形部 32 が台座として物品 50 への負荷を軽減することができる。

10

【0023】

包装箱 1 は、表示部 30 を第 1 側面部 13 側から第 1 側面部 11 側に向かって、一对の破断線 11a に沿って破断することで、図 4 に示すように、開口部 A が形成される。また、第 1 内フラップ 22、24 は、それぞれ自由端辺 L22、L24 から第 1 側面部 11 と当接する側の端辺 L22a、L24a に切り欠き部 22a、24a を有している。本実施形態では、開口部 A に合わせた形状に切り欠き部を形成してもよい。これにより、図 1 に示すように、包装箱 1 に収容されている複数の物品 50 を消費者が認識することができる。

20

【0024】

包装箱 1 は、一对の第 1 矩形部 31 を、それぞれ切断線 L4a および切断線 11b に沿って、第 1 側面部 13 側から第 1 側面部 11 側に向かって破断することで、図 1 に示すように、第 1 罫線 L1 を支点として、上方に立ち上げる。そして、包装箱 1 は、図 2 に示すように輸送時に天面部 20 が、図 1 に示すように、陳列時に正面となるように 90 度回転させた姿勢で第 1 側面部 13（一对の第 1 側面部のうち他方）が下方となるように物品 50 を展示する。これにより、包装箱 1 に平積みされ収容されていた物品 50 のパッケージが正面に向くように展示することができる。なお、上述したように、陳列時においては、図 1 に示すように、第 2 側面部を基準として第 1 側面部 13 側を下とし、第 1 側面部 11 側を上とする。

30

【0025】

図 1 に示されるように、包装箱 1 には、輸送時の天面部の一部と側面部の一部に開口部 A を形成している。これにより、消費者に対して、包装箱内の物品を容易に取り出しやすくすることができる。

【0026】

本実施形態の包装箱 1 は図 5 に示すブランクシートから形成される。

【0027】

このブランクシートは、包装箱 1 の側面部を形成する矩形の第 1 面部（第 1 側面部）11 と、第 1 面部 11 と第 1 罫線 L1 とを介して接続する矩形の第 2 面部（第 2 側面部）12 を備えている。そして、第 2 面部 12 と第 1 罫線 L1 と平行な第 2 罫線 L2 を介して接続する矩形の第 3 面部（第 3 側面部）13 を備えている。また、第 1 面部 11 と第 1 罫線 L1 と平行な第 3 罫線 L3 と接続する矩形の第 4 面部（第 4 側面部）14 を備えている。したがって、各面部は、第 4 面部 14、第 1 面部 11、第 2 面部 12 および第 3 面部 13 の順につながっている。さらに、第 3 面部 13 には、第 2 罫線 L2 と平行な第 8 罫線 L8 を介して継ぎしろ 15 が接続している。本発明では、継ぎしろ 15 は第 3 面部 13 に接続しているが、第 4 面部 14 に接続するようにしてもよい。

40

【0028】

第 1 面部 11 には、第 1 罫線 L1 と直角に延在する相互に平行な一对の第 4 罫線 L4 と

50

介して第1フラップ(第1外フラップ)21、第1フラップ(第2外フラップ)25がそれぞれ接続している。そして、第2面部12には、第2罫線L2と直角に延在する相互に平行な一对の第5罫線L5を介して第2フラップ(第1内フラップ)22、第2フラップ(第2内フラップ)26がそれぞれ接続している。また、第3面部13には、第2罫線L2と直角に延在する平行な一对の第6罫線L6を介して第3フラップ(第1外フラップ)23、第3フラップ(第2外フラップ)27がそれぞれ接続している。さらに、第4面部には、第3罫線L3と直角に延在する平行な一对の第7罫線L7を介して第4フラップ(第1内フラップ)24、第4フラップ(第2内フラップ)28がそれぞれ接続している。

【0029】

一对の第1フラップ21、25のうち、第1フラップ21は、破断開始部21aを有し、破断開始部21aは、第1フラップ21の自由端辺L21から第1フラップ21の第4罫線L4に所定の距離離れた位置に設けられる。また、破断開始部21aは、左右一对の帯状のジッパーを有している。なお、本実施形態では、破断開始部21aは、左右一对の帯状のジッパーを有するとしたが、これに限らず、破断開始部21aは、破断開始部21aの一方の端辺から他方の端辺の帯状のジッパーでもよい。

【0030】

第1フラップ21は、破断開始部21aの両端から第1面部11に亘って一对の破断線11aが形成され、破断開始部21aと一对の破断線11aと第1フラップ25の第4罫線L4とによって区画される表示部30を有している。また、表示部30は、一方の破断線11aから他方の破断線11aに亘って、表示部30の中央に折り曲げ線L11を形成している。また、折り曲げ線L11の近傍には、切断線11dが形成されており、切断線11dの一方の端部から他方の端部が、折り曲げ線L11上に位置するように形成されている。第1面部11には、一对の破断線11aから、それぞれ第1罫線L1および第3罫線L3に一对の切断線L4aが形成されている。また、第1面部11には、一对の破断線11aから、それぞれ第1罫線L1および第3罫線L3に一对の切断線11bが形成されている。これにより、第1面部11には、切断線L4aと破断線11aの一部と切断線11bとによって、一对の第1矩形部31が形成される。また、第1面部11には、切断線11bと破断線11aの一部と第3罫線L3の一部と第4罫線L4の一部とによって、一对の第2矩形部32が形成される。

【0031】

本実施形態では、第2フラップ22と第4フラップ24が、第1フラップ21と重ね合わさる自由端辺L22、L24から端辺L22a、L24aに切り欠き部22a、24aを有している。

【0032】

この図5で示したブランクシートを組み立てることで、包装箱1が形成される。第4面部14と第3面部13とを継ぎしろ15が重なり合う部分で接合し、四角形状にする。本発明では、継ぎしろ15を第1面部11の内側に重ね合わせて外部に露出しないようにしているが、継ぎしろ15を第4面部14の外側に重ね合わせて外部に露出するようにしてもよい。

【0033】

そして、第1フラップ25、第3フラップ27および第2フラップ26、第4フラップ28を折り曲げ、第2フラップ26、第4フラップ28が内側になるように第1フラップ25、第3フラップ27と重ね合わせて、第1フラップ25と第3フラップ27の自由端辺を突き合わせて、テープ類で封止することで、底面部が形成される。そして、複数の物品50を平積みにして収容し、第1フラップ21、第3フラップ23および第2フラップ22、第4フラップ24を折り曲げ、第2フラップ22、第4フラップ24が内側になるように第1フラップ21、第3フラップ23と重ね合わせて、第1フラップ21と第3フラップ23の自由端辺を突き合わせて、テープ類で封止することで、天面部20が形成される。この状態で、輸送され、陳列時には、ユーザは、図2に示すように、第1外フラップ21の一对の帯状のジッパーをそれぞれ破断し、図3に示すように、包装箱1の天面部

10

20

30

40

50

20が正面に向くように90度回転させる。そして、ユーザは、第1外フラップ21の破断開始部21aから表示部30を一对の破断線11aに沿って、一方の第4罫線L4を介して他方の第4罫線L4に向かって破断する。このとき、表示部30は、図4に示すように、他方の第4罫線L4を支点として起立している。ユーザは、表示部30を折り曲げ線L11を支点として内側に折り曲げ、一对の第1矩形部31を、それぞれ切断線L4a、切断線11bに沿って基端となる第1罫線L1および第3罫線L3に向かって破断し、起立させる。これにより、開口部Aが広がり、消費者に対して、物品50を取りやすくすることができる。

【0034】

このように、上述したように、第1外フラップ21の自由端辺から所定の距離離れた位置に破断開始部を設けることによって、テープの全幅に亘ってテープを破断することなく、包装箱を破断線に沿って容易に開封することができる。また、輸送時に包装箱の天面部が陳列時に正面に向くように90度回転させることで、包装箱に形成された表示部を破断線に沿って破断し、開口部が形成され、収容された複数の物品50を見映え良く展示することができる。

10

【0035】

以上、本発明の内容を表現するために、図面を参照しながら本発明の好ましい実施形態の説明を行った。ただし、本発明は、上記実施形態に限定されるものではなく、本願明細書に記載された事項に基づいて当業者が自明な変更形態や改良形態を包含するものである。

【符号の説明】

20

【0036】

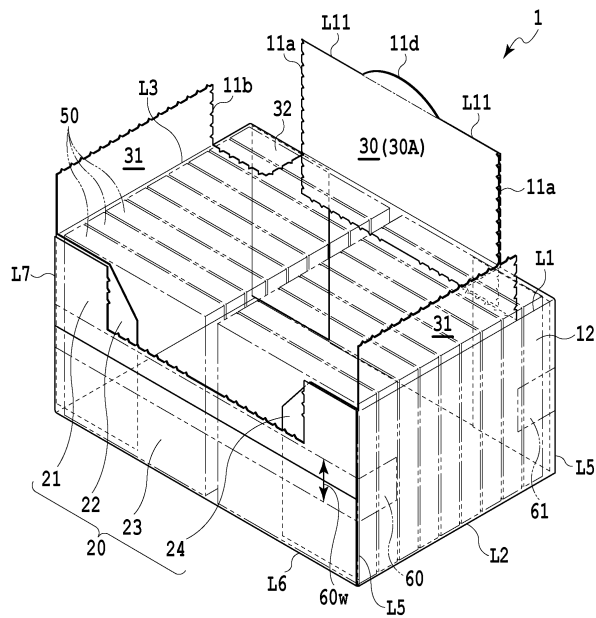
- 11 第1側面部(第1面部)
- 11a 破断線
- 12 第2側面部(第2面部)
- 13 第3側面部(第3面部)
- 14 第4側面部(第4面部)
- 20 天面部
- 21 第1外フラップ(第1フラップ)
- 21a 破断開始部
- 22 第1内フラップ(第2フラップ)
- 23 第1外フラップ(第3フラップ)
- 24 第1内フラップ(第4フラップ)
- 25 第2外フラップ(第1フラップ)
- 26 第2内フラップ(第2フラップ)
- 27 第2外フラップ(第3フラップ)
- 28 第2内フラップ(第4フラップ)
- 30 表示部
- 30A 表示部形成領域
- 50 物品

30

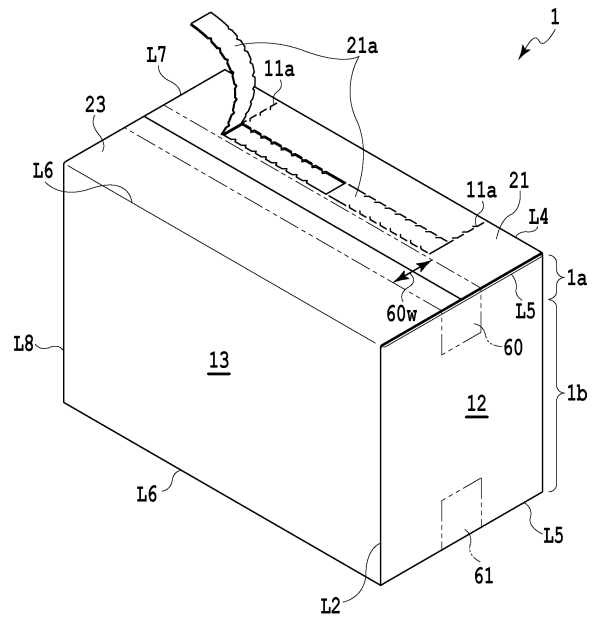
40

【図面】

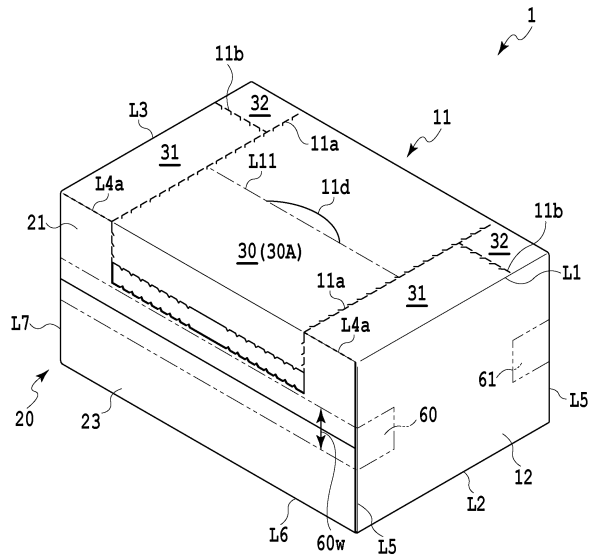
【図 1】



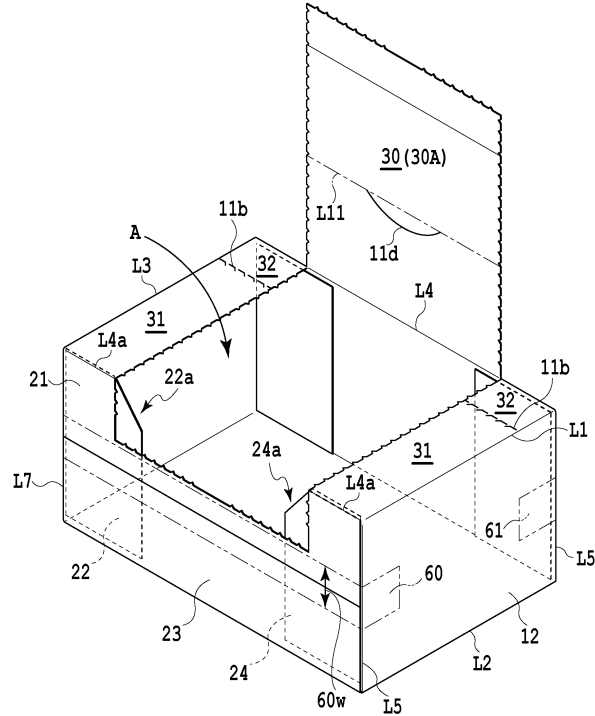
【図 2】



【図 3】



【図 4】



10

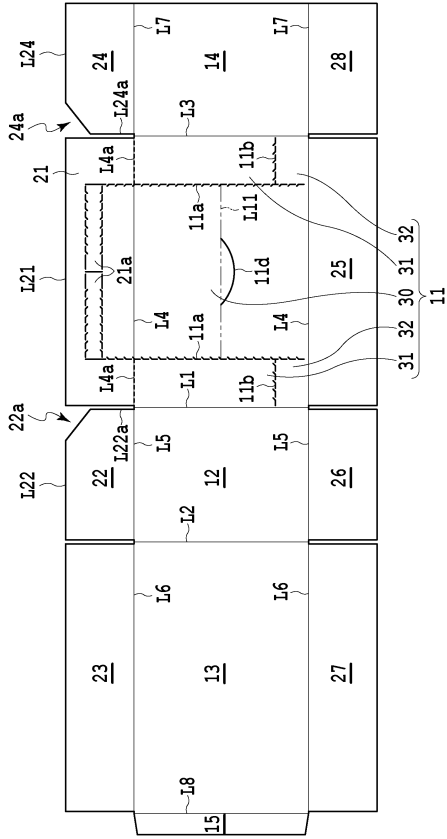
20

30

40

50

【図5】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

- (56)参考文献 登録実用新案第 3 2 1 7 1 4 2 (J P , U)
 特開 2 0 1 6 - 1 9 0 6 4 5 (J P , A)
 特開 2 0 1 7 - 1 0 9 7 6 2 (J P , A)
 実開昭 6 2 - 1 3 9 9 2 7 (J P , U)
 国際公開第 2 0 1 5 / 1 4 3 1 6 8 (W O , A 1)
 米国特許出願公開第 2 0 0 7 / 0 2 2 8 1 3 2 (U S , A 1)
 特開 2 0 1 5 - 9 8 3 2 (J P , A)
- (58)調査した分野 (Int.Cl. , D B 名)
- B 6 5 D 5 / 5 2
 B 6 5 D 5 / 5 4